

**産業構造審議会保安・消費生活用製品安全分科会第9回火薬小委員会  
議事要旨**

日 時：平成30年3月20日（火）14：00～15：30

場 所：経済産業省別館3階312各省庁共用会議室

出席者：（委員）新井委員長、浅野委員、飯田委員、磯谷委員、梅田委員、熊崎委員、古川委員、佐久間委員、杉原委員（穂積氏代理）、東嶋委員、友田委員、中野委員（川崎氏代理）、日吉委員、三浦委員、三宅委員、山田委員

（事務局）福島技術総括・保安審議官、塩田大臣官房審議官、後藤保安課長、白井鉦山・火薬類監理官、小泉火薬専門職、齊藤課長補佐、毛利火薬類保安対策官

**【審議事項】**

**1. 火薬類の技術基準等の見直しについて（案）**

**＜消費技術基準の見直しについて＞**

- 事務局より、資料1、資料2、資料2-1、資料2-2について説明。
- 資料の内容で了承が得られた。
- その他、委員からの主な意見
  - ・電波を発するものは、携帯電話以外にも存在。規制のイメージはどのようなものになるのか。（事務局）特定小電力（出力10mW）の無線まで規制する予定はない。
  - ・消費許可のうち、許可不要となる（無許可消費の占める）割合はどの程度あるのか。（委員）極めて少ないと思われる。

**＜保安距離にかかる技術基準の見直しについて＞**

- 事務局より、資料3について説明。
- 資料の内容で了解が得られた。
- 委員からの主な意見
  - ・本見直しは、先の第7回産業火薬保安ワーキンググループ・第7回煙火保安ワーキンググループで検討、精査してきており、見直し案は問題ないとする。

**【報告事項】**

**2. 平成29年の火薬類取締法関係事故について**

- 事務局より資料4について説明。
- 委員からの主な意見
  - ・がん具煙火も悪用すればテロの材料になり得るし、インターネットでもこういった情報が存在したりする。警察等と連携しながら事故対策を進めて欲しい。
  - ・がん具煙火の消費中の事故が依然多い。広報の在り方を考えて欲しい。

**3. 産業保安法令手続きの電子申請の検討状況について**

- 事務局より資料5について説明。
- 委員からの主な意見
  - ・電子申請や紙での説明だけでは伝わらない部分もあり、対面での説明や指導が非常に大事。

**4. 最近実施した主な施策等について**

- 事務局より資料6について説明。
- 委員からの主な意見
  - ・特段なし。

## 5. 平成30年度火薬類保安対策事業について

- 事務局より資料7について説明
- 委員からの主な意見
  - ・特段なし。

## 6. その他

- 事務局より、参考資料1に基づき、「火薬類保安技術実験の概要」を説明するとともに、「実験動画」を放映。
- 委員からの主な意見。
  - ・こうした動画は貴重であり、実際の許可等を行う自治体職員の研修にも有効。

お問合せ先

経済産業省産業保安グループ鉱山・火薬類監理官付

電話：03-3501-1870

F A X：03-3501-6565